

2015年 静岡旅行

右城 猛

1. まえがき

エーザイに勤務している朋男君が、10月から静岡勤務となり、家族で静岡市葵区七間町のマンションに引っ越した。

11月28日から3泊4日の日程で、観光を兼ねて孫たちに会いに行ってきた。初日は熱海温泉に泊まり、2日目と3日目は娘たちのマンションに泊めてもらった。

和恵の案内で熱海の初島、熱海梅園、三保の松原を観光してきた。

2. 熱海温泉と初島



高知空港7時45分発のANAで羽田へ。京急電鉄で品川に出て、新幹線こだまで熱海駅。朋男君の運転するレンタカーに乗って熱海港へ。



熱海温泉は3度目のはずであるがほとんど記憶がない。街はホテルやマンションが斜面、崖にへ

ぱりつくように建てられている。

熱海港から高速船に乗って初島へ。船内は乗客で満席。屋上のデッキも乗客でいっぱい。



乗客が与える餌を目当てにカモメが群れてやってきた。祐希、航希は大喜び。



25分で初島に到着。ここから富士山がよく見える。初島には10件ほどの食堂が軒を並べていた。空いた店を選んで入る。金目鯛煮物定食を食べた。安い。



初島は、周囲4キロメートルの小さい島。島の産業は古くから農業と漁業。耕作地や生活用水が限られている。江戸時代から島内の戸数は40戸前後で一定の人口を維持するという慣習が守られている。

祐希は大きなサボテンにビックリ。



日本で15番目の登れる灯台。灯台の横には東大地震研究所がある。



初島灯台の展望台からの眺望。天気に恵まれた。富士山がよく見えた。

この後、雲が出てきて富士山が姿を消した。日射によって地面が暖められて、暖められた空気や水蒸気が上昇気流になって上昇し上空の冷たい空気とぶつかって雲となる。このため、富士山に限ったことではないが、午後は山に雲が発生しやすくなる。



柿がたわわに実っていた。



家内と私は島を徒歩で散歩。孫たちはアジアンガーデンで遊ぶ。昔懐かしいハンモックがあった。



熱海温泉での宿泊は、ホテルニューアカオ。断崖絶壁の前に建つ 14 階建てのホテル。最上階の 14 階がロビーになっていた。このような場所にホテルを建てた発想に驚いた。

ロビーから熱海の温泉街が一望できる。この日は結婚式が行われていた。



夕食は、450 席あるシアターレストラン。ディナーショーを観ながらサザエ、アワビの陶板焼きなど美味しい料理に舌鼓を打つ。



ビールの後は、11 月の第 3 木曜日である 19 日に解禁された新種のボジョレーワイン・ボジョレーヌーボーを飲む。



午後8時半からは2階にある小劇場「カモメ座」(50人規模)で餅つき。泊まり客がステージに上がり、杵で一人5回ずつ餅を突く。30人ほどが親子連れで参加していた。突いた餅は参加者に振る舞われた。予想以上に旨かった。



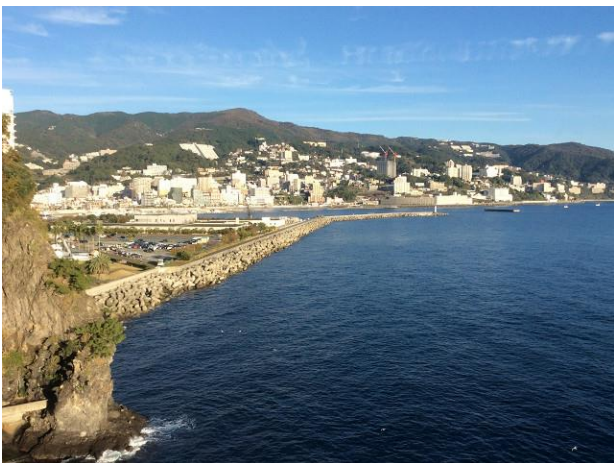
窓から泊まり客が差し出す餌を求めてカモメが群がっていた。



ホテルの2階にあるお祭り広場「アカオ横町」。60年前を思い出させるような雰囲気町の町が再現されている。



ホテル14階のロビー。チェックアウトしたあとで記念撮影。



ホテルの窓の外は相模湾。窓の外には熱海温泉街が見える



2日目の目的地は紅葉が見頃の修善寺。途中の道路がぐねぐねのため祐希が車酔い。「イライラする」と言っていたかと思うと、顔が真っ青にな

りゲロをした。山越は無理。熱海に引き返し、熱海梅園の紅葉に変更する。



熱海梅園は明治 19 年に開園。日本一早咲きの梅と遅い紅葉で有名。樹齢 100 年を超える梅の古木を含め 60 品種・454 本がある。

園内には「梅見の滝」、「中山晋平記念館」、「韓国庭園」、「足湯」、「澤田政廣記念美術館」がある。

熱海梅園の入口では、サービスの甘酒が観光客に振る舞われていた。この日はとても寒かった。暖かい甘酒は有り難い。



梅園内の足湯。静岡朝日テレビが取材にきており、和恵と祐希にインタビューがあった。放映されたのだろうか。



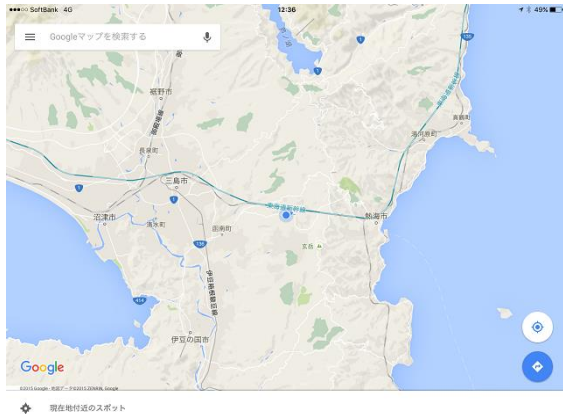
梅園内にある韓国庭園。韓国の民族衣装チマチョゴリを無料で貸してくれる。チマチョゴリを着て記念撮影をする家族が多い。



韓国庭園内では、チヂミ、トッポギなどの韓国料理を販売していた。



祐希も航希も大喜び。



県道 11 号線を通して、伊豆半島の付け根を東西に横断する。途中、函南町(かなみちょう)丹那にある、「十割そば函南丹那店」で「ダンタンそばの舞茸温そば」を食べる。朋男君推薦の店。

十割そばとは、つなぎを使用せず 100%蕎麦粉のみを使用したそば。

ダンタンそばとは、高地で栽培される苦そばで、ルチンを多く含む健康蕎麦。



「舞茸温そば」。ダンタンそばを頼んだので、普通の蕎麦で作った「舞茸温そば」より 100 円高い 1,100 円であった。

3. 静岡市

この日は、和恵たちが葵区に借りているマンションに泊めてもらう。

東京墨田区に住んでいたときには、目の前がスカイツリーであったが、このマンションからは富士山が見える。

夕食は、和恵のママ友が推薦した静岡おでんが美味しいと評判の店「味の店 乃だや」に行く。黒はんぺん、味噌かけ大根は抜群。串焼きも美味しかった。



食後は祐希と和恵に、イルミネーションがきれいな青葉シンボルロードを案内してもらう。

マンションのすぐ側にあり、祐希たちの遊び場になっている。



池の水に映り出されたイルミネーションは素晴らしい。



青葉シンボルロードの側に「青葉おでん街」があった。名物の静岡おでん専門店が軒を連ねている。観光客には人気のスポットになっているようである。



3日目とる月曜日の朝、祐希を聖母幼稚園まで送っていった後、駿府公園を散歩。徳川家康が建てた駿府城跡地。

駿府城の別名は府中城または静岡城。



平成8年に復元された東御門高麗門。追手門の石垣は、「打ち込みハギ」きれいに整形された石が積まれている。

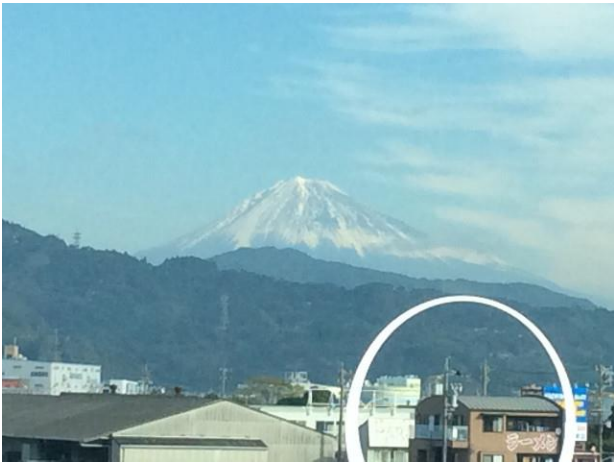


内堀の石垣は、徳川家康が江戸時代に施工した「打ち込みハギ」の所と、武田、今川時代に作られた「野面積み」の箇所がある。



打ち込みハギと野面積みの石垣が見える。

4. 美保の松原



電車で JR 静岡駅から JR 清水駅へ。駅の窓の外には富士山の勇姿が現れた。



JR 清水駅東口から出て県道を渡ると清水魚市場「河岸の市」があり、その裏手(東側)に水上バスの乗船場(江尻)がある。

そこから、水上バスに乗って美保に渡る。東の方向に富士山が見える。



水上バスではカモメの餌が一袋100円で売っていた。

餌を海に巻くと、どこからかカモメが1匹、2匹と飛んで来て、アット言う間に数十匹に増えていた。



東海大学美保水族館・自然史博物館前から美保松原入口までバスで行く。

「三保羽衣神の道」は、三保の松原(羽衣の松)から「羽衣伝説」ゆかりの御穂神社への参道。

樹齢200~300年といわれる老松の並木道が約

450メートル続いている。

平成20年に、松の根を傷めないように木製の歩道が整備され、車いすでも移動できるようになっている。

三保松原は、静岡市清水区の三保半島にある景勝地。日本新三景、日本三大松原のひとつ。ユネスコの世界文化遺産「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産に登録されている。



参道の両側には松の大木が並んでいる。



松林の松



羽衣伝説で有名な「羽衣の松」。観光客が松に近づけないように周囲に柵が設けられている。

羽衣の松の南には、御穂神社の離宮である羽車神社がある。神社は、羽衣伝説に登場する漁夫の屋敷跡。



三保の松原と富士山。絶景である。



富士山を背景に記念写真のスポット。観光客が多い。



金目鯛定食



食堂が並んだマグロ館。



バスでJR 清水駅まで帰り、清水港の魚市場「河岸の市」にあるマグロ館の中の食堂「一期」で金目鯛定食を食べる。

金目鯛が大きく、これまで味わったことがないような旨さには驚いた。マグロの刺身も甘くて旨い。

5. あとがき



12月1日は12時から高松で会議がある。早朝5時半に起きると祐希も起きてきて、見送ってくれた。

静岡駅 6時41分発の新幹線ひかりに乗るため静岡駅へ。マンションから徒歩で約10分。静岡駅では徳川家康公の銅像が見送ってくれた。